

【2017年度不開講】 2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
スポーツ文化社会科学特論Ⅰ	1・2年次春学期 (1・3セメスター) 集中講義・隔年開講	講義	2	友添 秀則
授業概要				
スポーツは人間が創造・洗練させてきた貴重な文化である。と同時に人間はスポーツに教育的機能を内在させてきた。本講義では、スポーツと教育の関係について、社会科学的な視点から論じる。				
授業目標(到達目標)				
現代社会におけるスポーツと教育の関係論を社会科学的視点から考察・検討することによって、スポーツの教育的意味、倫理的価値、文化論的位置づけとその根拠について理解できるようになる。				
成績評価方法・基準				
授業への取り組み(20%)、単元ごとに実施する小テスト(30%)、最終テスト(50%)				
教科書・教材・参考文献 等				
特に教科書は定めない。 ＜参考文献＞ ○友添秀則「スポーツの今を考える」(創文企画) ○友添秀則編「現代スポーツ評論」(創文企画) ○友添秀則「体育の人間形成論」(大修館書店) ○友添秀則編「よくわかるスポーツ倫理学」ミネルヴァ書房 ○友添秀則編「新版 教養としての体育原理」大修館書店 この他についても、授業で適宜紹介する。				
授業計画				
	項目・内容			
1	スポーツ教育学の基礎理論(1) ジュニアスポーツの現状を巡って			
2	スポーツ教育学の基礎理論(2) ジュニアスポーツの問題状況を巡って			
3	スポーツ教育学の基礎理論(3) 良いスポーツ指導の教授学的理解			
4	スポーツ教育学の基礎理論(4) 良いスポーツ指導者の教授技能を巡って			
5	スポーツ教育学の基礎理論(5) 現代スポーツのアポリアと新しいスポーツ哲学の構築			
6	スポーツ教育の文化論的考察(1) 現代スポーツを取り巻く文化状況			
7	スポーツ教育の文化論的考察(2) 社会変化とスポーツ教育			
8	スポーツ教育の文化論的考察(3) スポーツ需要の変化と学校体育の理念			
9	スポーツ教育の文化論的考察(4) スポーツの概念と近代スポーツ			
10	スポーツ教育の文化論的考察(5) スポーツ科学論とスポーツ教育学をめぐって			
11	スポーツの倫理学的考察(1) スポーツ倫理学研究の現在			
12	スポーツの倫理学的考察(2) 国家とスポーツ、アスリートの自由を巡って			
13	スポーツの倫理学的考察(3) ドーピング問題の倫理的評価			
14	スポーツの倫理学的考察(4) アンチ・ドーピング教育の理論的意味づけ			
15	本講義のまとめ、評価			
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)				
授業ではディスカッションを取り入れていく予定である。積極的に授業に関わり、自らの知識を磨き、思考を深めてもらいたい。				